

藍住町 議会だより

第63号

平成22年11月25日

発行 藍住町議会
編集 議会だより編集委員会
徳島県板野郡藍住町奥野
字矢上前 52-1

TEL (088)637-3127

FAX (088)637-3156

<http://www.town.aizumi.tokushima.jp>



藍住町 パークゴルフ場

目次

9月定例会・・・・・・・・・・ P.2	一般質問・・・・・・・・・・ P.5～10
総体質問・・・・・・・・・・ P.3	議会のうごき・・・・・・・・ P.12

9月定例会

9月定例議会が9月6日から17日までの12日間の会期で開会され、下記の議案について審議しました。

町長提案

- 平成21年度藍住町一般会計歳入歳出決算の認定について・・・・・・・・・・原案可決
- 平成21年度藍住町特別会計(国民健康保険事業)歳入歳出決算の認定について・・・・原案可決
- 平成21年度藍住町特別会計(老人保健事業)歳入歳出決算の認定について・・・・原案可決
- 平成21年度藍住町特別会計(介護保険事業)歳入歳出決算の認定について・・・・原案可決
- 平成21年度藍住町特別会計(介護サービス事業)歳入歳出決算の認定について・・・・原案可決
- 平成21年度藍住町特別会計(後期高齢者医療事業)歳入歳出決算の認定について・・・・原案可決
- 平成21年度藍住町特別会計(藍寿苑介護サービス事業)歳入歳出決算の認定について・原案可決
- 平成21年度藍住町特別会計(水道事業)歳入歳出決算の認定について・・・・・・・・原案可決
- 平成21年度藍住町特別会計(下水道事業)歳入歳出決算の認定について・・・・・・・・原案可決
- 平成22年度藍住町一般会計補正予算について・・・・・・・・・・・・・・・・原案可決
- 平成22年度藍住町特別会計(国民健康保険事業)補正予算について・・・・・・・・原案可決
- 藍住町重度心身障害者等に対する医療費の助成に関する条例の一部改正について・・原案可決
- 藍住町廃棄物の処理及び清掃に関する条例の一部改正について・・・・・・・・原案可決
- 藍住町教育委員会委員任命の同意について・・・・・・・・・・・・・・・・中野昭美
- 固定資産評価審査委員会委員選任の同意について・・・・・・・・・・・・山田俊昭

議員提案

- 「選択的夫婦別姓を認める民法の一部改正」に反対を求める意見書について・・・・原案可決

諮問

- 人権擁護委員候補者の推薦について・・・・・・・・・・・・・・・・廣瀬浩美、松本法雄、小西茂之

審査申立てに対する知事裁決が出されました

第2回臨時会(4月26日)において地方自治法第127条第1項による資格決定により失職した西岡恵子氏から徳島県知事に対し、議会の決定を不服として審査請求が提出されていましたが、10月25日付で次のとおり知事の裁決が出されました。

- ・主文 本件審査申立てを棄却する。
- ・理由(概要) 議会の審査手続が違法とはいえず、また、本件選挙前3か月の間において、審査申立人の住所が藍住町にあったとは認められないから、審査申立人の主張は認めることができない。

〔※なお、この裁決については、21日以内に、藍住町を被告として処分の取消しの訴えを、また、徳島県を被告として裁決の取消しの訴えを提起できることになっています。〕

総体質問

問 住宅新築資金等貸付事業について

①開始時期と貸付件数、貸付総額はいくらか。

②平成19年度・20年度の決算内容は、調定額や収入未済額が違うのではないか。

答 ①昭和55年から平成5年まで貸付を行ってお

り、延べ66件、総額は2億8,490万円である。

②決算書に滞納分が掲載できていなかったため、21年度では正させていただいた。

問 空き缶の回収方法もペットボトル同様、拠点回収に切替え、指定ごみ袋を使用しなくてもよいようにしてはどうか。

答 空き缶は今では有価で

処理されているが、情勢により無価値になる可能性もあるため、今後の検討課題とさせていただきます。

問 パークゴルフ場管理費の補正予算が組まれているが、水質検査やトラクター借上げ等は委託先がするのではないか。お金の使い方もっと考えるべきではないか。

答 契約時の協定書の中で、機械類は町が負担することになっている。水質検査については毎年度、県と国土交通省に報告しなければならず、これも町が予算化することになっている。

問 西小学校教育振興費の備品購入でバレーボール支柱2セットで50万円となっているが、内訳は。

答 老朽化した支柱のみの値段である。要望によりアルミ製のため、鉄製の物より値段は高くなっている。

喜田修議員に感謝状贈呈

9月17日、藍住町議会議員に対する感謝状贈呈式が行われました。

昭和55年2月以来、本町議会議員として多年



にわたり精励され、議長及び副議長の重職を歴任されるなど、議会の円滑な運営と町勢発展に貢献された喜田修議員に、議員在職30年に達する者として、町長より感謝状が贈呈されました。

平成22年度9月一般会計補正予算

歳入・歳出とも1億300万円増額
予算総額 86億1,300万円

主な補正の内容(1万円未満切り捨て)

総務費

- ▶住民税国税連携システム開発委託料 …… 572万円
- ▶住民税国税連携システムサーバー購入費 … 215万円
- ▶高齢者世帯等への火災報知器や家具転倒防止金具の設置助成 …… 50万円
- ▶電子申請や確定申告システムの国税連携対応、所得証明システム変更等による委託料 …… 430万円

土木費

- ▶一般町道新設改良費 …… 1,226万円

教育費

- ▶武道館照明改修工事 …… 570万円

民生費

- ▶国保会計への繰出金 …… 1,120万円 (国保保険料軽減措置及びレセプト電子化に係る事務費)
- ▶保育室への空気清浄機設置 …… 340万円

衛生費

- ▶女性特有のがん検診委託料 …… 489万円
- ▶子宮頸がんワクチン接種及び日本脳炎予防接種委託料、新型インフルエンザワクチン接種補助 … 1,368万円

商工費

- ▶プレミアム商品券発行事業補助金 …… 400万円

平成22年度9月特別会計補正予算の状況

(単位：万円)

特別会計名	補正前の額	補正額	補正後の額
国民健康保険事業	27億20	1億3,020	28億3,040

平成21年度一般会計決算認定

歳入 98億6,200万9,130円

単位：万円(1万円未満四捨五入)

町 税	37億8,146
地方譲与税	1億397
地方交付税	14億2,026
各種交付金	3億7,273
分担金及び負担金	3億5,671
使用料及び手数料	2億7,303
国庫・県支出金	23億3,796
繰越金	2億5,313
町 債	5億7,830
その他	3億8,445
歳入合計	98億6,201

歳出 93億6,175万7,536円

単位：万円(1万円未満四捨五入)

議 会 費	9,249
総 務 費	14億9,864
民 生 費	24億6,761
衛 生 費	10億5,828
労 働 費	1,312
農 林 水 産 業 費	7,965
商 工 費	913
土 木 費	4億4,401
消 防 費	4億418
教 育 費	23億8,017
公 債 費	9億1,445
諸 支 出 金	4
歳 出 合 計	93億6,176

※ 1万円未満を四捨五入しているため、
合計額は一致していません。

平成21年度特別会計決算認定

単位：万円(1万円未満四捨五入)

会 計 名	歳 入	歳 出
国民健康保険事業	28億9,504	27億3,180
老人保健事業	3,632	3,398
介護保険事業	18億3,820	17億2,660
介護サービス事業	1,097	1,097
後期高齢者医療事業	1億8,847	1億8,491
藍寿苑介護サービス事業	2億8,236	2億6,590
水道事業(収益的収支)	4億9,431	3億 53
水道事業(資本的収支)	6億3,903	9億 37
下水道事業	3億9,793	3億7,555

請

願

1件の請願があり、賛成多数により採択されました。

● 「選択的夫婦別姓を認める民法の一部改正」
に反対を求める意見書提出に関する請願

………採択



正法寺川

ゆめタウンについて

交差点改良工事はイズミが実施する

問 オープンを来年に控え、周辺の道路対策や交差点の改良工事等はいつから始めるのか。相当土上げされるが、奥野ニュータウン入口のごみ箱のある所は低くなっており、住民は洪水を心配している。県に要望して堤防の低い所を土上げできないか。

答 交差点改良は、店舗に併せて完成するものと思っている。

奥野ニュータウンの方にも業者が説明会を開催し、正法寺川の排水関係の質問もあったようだが、通常の雨等については、正法寺川の堤を超えようような水が北側の方へ流れ出すことはないように聞いている。

町長は、昭和47年の建設から30年余りの間、町民の憩いの場として親しんできた町民プールを老朽化を理由に取り壊し

なつたのか。町長は、昭和47年の建設から30年余りの間、町民の憩いの場として親しんできた町民プールを老朽化を理由に取り壊し

問 教育の機会均等、また中学生のアンケートでも要望が多かった藍中のプールを建設するとのことだが、町長の1、2回目の公約であった町民みんなが楽しめる健康づくりにも使えるドーム型の町民プールづくりはどうなつたのか。

答 町民プールは町民の健康づくりや生きがいづくりには必要な施設であるとの認識に変わりはないが、厳しい財政事情の中、今は学校施設を中心とした耐震工事を優先している。



小川 幸英 議員

プール建設について

藍住中のプール建設は、教育の機会均等の観点から、耐震化工事とセットで進めている

問 教育の機会均等、また中学生のアンケートでも要望が多かった藍中のプールを建設するとのことだが、町長の1、2回目の公約であった町民みんなが楽しめる健康づくりにも使えるドーム型の町民プールづくりはどうなつたのか。

答 町民プールは町民の健康づくりや生きがいづくりには必要な施設であるとの認識に変わりはないが、厳しい財政事情の中、今は学校施設を中心とした耐震工事を優先している。

問 本年度、町制施行55周年を迎えてアイズミ55という記念誌を400万円かけて5千部発刊したが、どのような意図で作つたのか。

また、3ヶ月経つた今、千部配つてまだ4千部残っているが、どうなのか。何故、全町民に配らなかつたのか。

答 町勢要覧は、町の文化や産業・統計などをまとめた冊子として5年に一度発行している。今回は町民アンケートをもとに、従来とは趣を変え、より親しみやすい内容となるよう工夫した。10年前には全戸配布したが、直後からごみとして多く出されたということもあり、この度は希望者に無償でお配りする形を取らせていただいた。町勢要覧の発行案内を再度、町広報紙やホームページに掲載し、PRを行いたい。

その他の質問

- ◆ 土砂置き場仮捨て場について
- ◆ 子宮頸がん予防について
- ◆ 農業施策について
- ◆ 教育環境の充実について
- ◆ LEDを生かした町づくりについて
- ◆ 高齢者対策について
- ◆ AEDの活用について

町制施行55周年事業について

これまで5年ごとに記念行事を実施してきたが、時節柄、この度は特別な行事等は予定せず、町制施行55周年の要覧を作成した

問 本年度、町制施行55周年を迎えてアイズミ55という記念誌を400万円かけて5千部発刊したが、どのような意図で作つたのか。

答 町勢要覧は、町の文化や産業・統計などをまとめた冊子として5年に一度発行している。今回は町民アンケートをもとに、従来とは趣を変え、より親しみやすい内容となるよう工夫した。10年前には全戸配布したが、直後からごみとして多く出されたということもあり、この度は希望者に無償でお配りする形を取らせていただいた。町勢要覧の発行案内を再度、町広報紙やホームページに掲載し、PRを行いたい。

友好都市交流について

職員の人事交流は是非実現したいと考えており、河北町に打診をしたい

問 友好都市・山形県河北町と当町は来年20周年の節目の年となるが、その間、相互に多くの町民が交流を重ねてきた。主だった行事とその成果について、どのように評価されるか。また、20周年の記念行事を計画しているのか、来年以降の友好交流を続けるのか、両町の歴史と文化の発展のため、どのような方向づけをするのか。

答 文化・スポーツなど様々な分野での交流を通じて、すばらしい歴史や文化に触れることができたほか、人と人との交流の輪も広がり、有意義であったと感じている。20周年事業は、より一層、両町の交流が深まる事業を実施したい。

保育所運営について

年度当初はできるだけ待機児童が発生しないようクラス編成等を行っている



小堀 克夫 議員

問 全国的に保育所入園待機児童数が問題視されている。藍住町の現状はどうなっているか。時期によって変動すると思うが、待機児童ができるだけ発生しないように定員増加の計画はあるのか。

答 現在、保育所の業務の民営化について検討しているが、保護者説明会等、入念に行わなければならぬ。民営化への推進はどうなっているのか。

答 年度途中、特に0歳児で待機児童が出ています。定員増加については、

検討を加えていきたい。

本年度中に保育所再編検討委員会等で保育所再編

検討結果

報告書及

び保育所

民営化基

本計画を

決定。予

定どおり

進めば、

平成23年

度に運営

法人を募

集・決定

すること

となる。



保育所で遊ぶ子ども達

町営住宅の入居状況について

561戸のうち430戸が入居

問 現在の入居者数はどのようになっているのか。

安任、原団地他、政策空き屋の状況について、とびとびの入居者に同じ棟への移転を進めているのか。空いた棟を解体し、更地にすることで災害時の避難場所として利用すべきでは。

入居者に理解を求めて

計画的に推し進めるべきでは。

家賃滞納はいくらあるのか。また、回収に対しての施策はどう行っているのか。

答 空き屋政策をとっている住宅については、順次移動していただけるよう粘り強く交渉し、空いた棟から取り壊したい。

家賃滞納は9月1日現在、総額8,152万7,451円。催告書を送付しても納付状況が悪い場合、生活状況等について聞き取り調査を行い、具体的な納付計画を立てるようにしている。悪質な滞納者については訴訟を前提とした納付指導を行い、改善がなければ訴訟する方向で準備を進めている。



西クリーンステーション

高齢者対策

関係機関に対し、必要に応じて
情報提供を行っている

問 住民基本台帳の管理は正確性が問われる。関係部署との連携強化などで実態に即した台帳を管理する体制を作るべきだと思うが、今後の課題について伺いたい。

高齢者の単独世帯などの安否確認は、公的支援サービスだけに頼るのは現実的ではない。各地で取り組む「見守りネットワーク」については、本

町でも参考になると思うが、どのような認識か伺いたい。

答 福祉課や税務課と連携し、住民票の職権削除を一部行っている。

民間事業者のネットワーク等の活用について、関係機関と協議を進め、どのように取り組んでいくか検討したい。

平成23年度からレセプトが電子化されていく中で、どういう形でお知らせしたらよいかを検討し、使用促進を図るよう努力したい。

ごみ問題「ごみ袋の値下げは」

来年4月1日から実施したい

問 循環型社会実現の環境施策は、徹底したごみの資源化、リサイクル率の向上、流通段階でのレジ袋対策、過剰梱包など総合的なシステムの構築が求められる。今後の方針を伺いたい。

西クリへの持込粗大ごみに対する料金徴収は従量制にしてはどうか。

指定ごみ袋の値下げについては、町民との約束でもありその時期が来ているのでは。また、高齢者も使いやすい袋に改善すべきである。

答 ごみの減量・資源化やマイバック運動等の啓発活動を継続して行いたい。

粗大ごみは、他市町村の収集方法や処理金額の状況を踏まえて協議し、最善の方法を検討したい。

この度、指定ごみ袋の

値下げを実施する方針を固めた。価格は近隣市町村の価格や動向、原油価格の推移等も含めて総合的に判断したい。

また、ごみ袋は縛りやすい形に変更したい。



西川 良夫 議員

後発医薬品の使用促進

(ジェネリック医薬品)

継続的に周知に取り組むとともに、より効果的な方策を考えたい

問 先発医薬品と同一の有効成分を含み、品質、有効性、安全性が同等であると認められた医薬品。しかも安価であるため患者の負担軽減、医療保険財政の安定のため、厚労省でも使用促進の目標を掲げているが、現状と今後の方針を伺いたい。

答 昨年度から国保被保険者にはパンフレットを送付。本年度は、申し出があった方に限るが、ジェネリック医薬品に切り替えた場合の自己負担軽減額を算出して通知する取組みを開始。また、医薬品の切替えの意思を医療機関等に伝えやすくするための「ジェネリック医薬品希望カード」も送付している。

町政のここが聞きたい

プール建設と小・中学校へ
クーラー設置を

エアコン設置は成長期の子供たちに与える身体的影響も含め、慎重に検討したい

問 ① 町長の公約であり、町民から要望の大きい町民プールの建設計画は、どうなっているか。財政難だというのなら藍住中学校にプール建設と町民プールとを併用してはどうか。

② 熱中症にかかり、尊い命が奪われてからでは絶対遅い。小中学校にクーラーを設置してはどうか。

③ 教室でクーラーがついている部屋数は。その

部屋を有効活用してはどうか。

④ 緑のカーテンと言われているゴーヤを栽培し教室を冷やす方法を取り入れてはどうか。

答 ① 露天型プールは利用者が少なく、温水プールは建設費・ランニングコストが高いと聞く。藍住中に予定するプールに少し工夫を加えれば町民プール建設が可能との意見は無理がある

ように思う。

② 多額の工事費が必要であり、教育施設の耐震改修が完了後、慎重に検討したい。

③ 図書室等の特別教室に小学校で11教室、中学校で5教室に設置。低学年を中心に各学級で交代で利用している。

④ 今後、調査・研究をしたい。



宅内配管工事の様子

町営住宅の家賃滞納と
老朽化への対応は

21年度の滞納は75件838万円

問 ① 滞納状況と支払いが困難な人に家賃の減額は。

② 町営住宅の耐震診断実施と便所のくみ取り式を合併浄化槽に切り替える考えは。

行い、具体的な納付計画を立てるようにしている。

② 耐震化を進めるには多額の財源が必要。利用できる補助金等を研究し、状況を見ながら検討

したい。

くみ取り式の5団地は空き屋政策をとっており、合併浄化槽への転換は検討していない。



林 茂 議員

公共下水道の加入状況と
財政状況は

公共ますへの接続は8月末現在で91件

問 昨年4月から下水道の運用が開始されたが、① 下水道の加入と接続してもらえない理由は何か。

② 予算では、流域下水道維持管理負担金が約2千万円、下水道使用料は699万円で1,300万円の赤字。赤字を減少させるためにも敷地内の排水工事に助成金を出し加

入促進をしたらどうか。

答 ① 経済情勢の影響もあり、検討中という方が多い。助成金制度のある供用開始3年以内に接続していただけるよう、再度、戸別訪問等をお願いしたい。

② 流域内の他市町の動向も踏まえて考えたい。

戸籍上で生存しているような所在不明の100歳以上のお年寄りが問題化しているが、本町ではどうなっているのか

本町に本籍がある100歳以上の高齢者は25名、内20名の所在が確認できていない

問 新聞やテレビで大きく取りあげられている、戸籍上で生存している所在不明の100歳以上のお年寄りは、本町にはどのくらいいるのか？

また、今年は異常な猛暑で熱中症などの発症が多かったが、独居老人やハンディを抱えている人々への対応はどうなっているのかお聞きしたい。

答 本年9月6日付で法務省から、120歳以上の方については、戸籍の附票に何も記載されていない(住民登録がされて

いない)場合は、それ自体を理由に職権消除を可とする取扱が示された。今後、法務局とも協議しながら対応していきたい。

一人暮らしの高齢者対策では、民生委員活動の一環として、日ごろから



敬老のつどい



小西 浩昭 議員

就学援助について

準要保護世帯へのクラブ活動費・PTA会費・生徒会費の支給は、現時点では考えにくい状況

問 経済的な理由により小・中学校への就学が困難な児童・生徒に給食費や学用品等の援助を行う

れており、該当する世帯については既に支給されている。

就学援助制度。文部科学省は平成22年度、新たに就学援助対象費目に「クラブ活動費」「生徒会費」「PTA会費」を追加しましたが、本町ではこの要保護世帯及び準要保護世帯の児童・生徒にかかる援助実施を予定、あるいは検討しているのか、お聞かせください。

準要保護世帯へのクラブ活動費・PTA会費・生徒会費の支給は、県の補助金がないため、現時点では考えにくい状況である。御理解いただきたい。

答 要保護世帯については、生徒会費・PTA会費は従来の教育扶助の基準額に含まれている。クラブ活動費は、平成21年7月から新たに家庭内学習に必要な図書購入費や課外クラブ活動の経費として教育支援費が設けら



町政のここが聞きたい



鳴門藍住大橋

防災・水害対策 “地区別防災住民説明会”

住民の皆さんが参加していただけるような講習会を考えたい

問 藍住町では、7月30日、台風・豪雨・水害に備え、防災エキスパート・山本邦一氏による水防講座を実施。人命救助の時にすぐ役立つ「もやい結び」等、多様なロープワークを消防団員・防災団員が学んだ。

講習会で学んだ基礎知識と各団員の豊富な救助経験を生かし、行政主導で東部消防・防災団と連携し、地区別防災説明会を。

同時に震災被災地のスライド写真・起震車体験

等の活用も。



永浜 茂樹 議員

答 専門的な指導は、専門的知識を持つ水防専門家の方に依頼し、講習会を行う方法がよいと思う。消防団や防災団等の協力をいただき、各種団

体や地域の自主防災組織とも連携しながら、住民の皆さんが参加していためるような講習会を考えていきたい。

また、震災の写真パネルや起震車での体験等も考えたい。

河川警報装置設置対策

関係機関へ要望をしてみたい

問 現在、河川の水位・洪水情報は、徳島県道路防災情報管理システムで70余の観測所水位の情報がインターネットで分かることだが、豪雨・洪水対策として名田橋・鳴門藍住大橋に「河川水位表示板を」

答 吉野川や旧吉野川は国土交通省の管理となっている。水防情報、河川の状態を得る手段として有効であるとは思いますが、優先度や多額の費用を伴うことから、設置できるものかどうか分からないが、関係機関へ要望はしてみたいと思う。

その他の質問

◆ハザードマップ掲載の浸水・幹線道路の改良・進捗状況について

◆藍住町教育委員会・教育方針について

交通安全対策協議会・委員の構成について

各関係機関からなる幅広い委員構成を検討、選出し、効果的な組織運営ができるようにしたい

問 防災の合言葉、自助・共助・公助の精神で、各地域の実情をよく理解・把握されている各地区協役員の方など広い分野で活躍の各団体役員で交通安全対策協議会の委員構成を。

答 現在の組織は、関係部署や機関、併せて10名の委員で構成されている。社会状況の変化もあり、他の関係団体からも委員の選出を検討したいとお答えしたが、まだ具体的な委員選出には至っていない。本年度中には、組織の整備を図りたい。

ゆめタウン開店等に伴い交通渋滞が予測される。町民の交通安全・通学路の安全対策は道路拡幅である。現在、朝の通勤車両は主要県道から幹線道路・脇道に移動している。車道と歩道の区別、サイン引きを



町からの主な報告

徳島バス鍛冶屋原線等の廃止問題

この度、赤字分の約9割を関係市町が、約1割を徳島バスがそれぞれ負担すること、今後、関係機関で利用促進を図っていくことで調整が整った。また、関係市町負担の一部については、県の補助が見込めることとなった。

このため、9月末で廃止予定であった鍛冶屋原線を含む2路線は、存続の方向である。

東吾妻町・藍住町・愛荘町の3町合同企画展「麻・藍・布」

8月11日から藍の館で

定例会案内

次の定例会は12月です。次号は2月に発行します。

●お問い合わせ●
議会事務局 ☎637-3127

本会議を傍聴しませんか

本会議はどなたでも傍聴することができます。傍聴は、本会議当日、先着順に受け付けていますので、議会事務局までお気軽にお越しください。なお、傍聴席の定員には限りがありますので、ご了承ください。

編集委員会では、町民の声の投稿を募集しています。議会や町政に関するご意見をお寄せください。



投稿規定

- ①住所・氏名・電話番号を明記。
- ②掲載時に匿名を希望する方は申し出てください。
- ③字数は500字以内。
- ④投稿者の多い場合には、掲載月を調整する場合があります。



機織り体験の様子

中心市と周辺市町村が協定を締結することで圏域を形成し、中心市と周辺市町村がそれぞれの機能を活用して相互に役割分担し、連携・協力すること

高齢者や重度の障害のある方等、一定の要件に該当する世帯に対し、火災による被害の防止や地震に伴う家具の転倒対策を促進し、安全を確保することを目的として、これら器具の取付けに要する費用の一部として5千円を上限に費用の半額を補助する。

また、本年度の新型インフルエンザワクチン接種に係る費用について、ワクチン接種対象者のうち町民税非課税世帯及び生活保護世帯に属する接種者は、ワクチン接種を

を受けた際に支払う実費負担について、その全額を助成する。
藍住町商工会のプレミアム商品券発行事業の助成
商工会では、学識経験者・専門家及び商工会関係者等の構成によりプレミアム商品券事業検討委員会を設置。10月発行に向けての準備を進めている。
発行額5千万円に10%の割増のプレミアム500万円を付加した、総額5千500万円の商品券の発行を予定。
については、町内商工業の活性化が少しでも図られるよう、プレミアム500万円の8割を補助するため、400万円を補正上した。

展示を行い、9月18日から20日の3日間は実演や体験のイベントを実施。今年度は藍住町、来年度は愛荘町、再来年度は東吾妻町での開催を計画している。
地方でこの企画展を開催することによって、さ

らにより多くの方に藍や麻の魅力を感じていただくことができるものと考えている。
定住自立圏構想
徳島市を中心市とし、藍住町を含む2市9町1村で新たな地域振興策の一つとして、定住自立圏構想に取り組み。

住宅用火災報知器及び家具転倒防止金具の取付支援事業
高年齢者や重度の障害のある方等、一定の要件に該当する世帯に対し、火災による被害の防止や地震に伴う家具の転倒対策を促進し、安全を確保することを目的として、これら器具の取付けに要する費用の一部として5千円を上限に費用の半額を補助する。

事業対象者は中学3年生の女子で、助成額は1回当たり1万6千円。1人3回までとし、助成開始時期は、本年10月1日を予定。

県の補助制度を利用し、子宮頸がん予防ワクチン接種助成事業を実施し、女性特有のがん対策を推進する。

わたしの一言

勝瑞 橋本 嘉胤さん

勝瑞城館跡まつりは毎年5月第2日曜日に行われ、今年で10回となりました。10年前に勝瑞館(やかた)を発掘した年を始めとする祭りです。

四国の県庁所在地は江戸時代(近世)になって基礎を築き発展しました。したがって江戸時代前(中世)はいずれも寂しい漁村でした。中世の中心地は、阿波は勝瑞、讃岐は丸亀、伊予は今治と宇和島、土佐は安芸と中村です。このうち勝瑞の領主は細川氏が足利将軍の管領(首相)として室町幕府の実権を握り、次いで三好氏が幕府再興をはかって織田信長と戦いました。

現在、忘れられかけている中世の遺産、そして歴史ある城と館(遺産)を全国に発信する祭りです。

祭りは9回まで城地で行われました。今年になって館地の発掘が終わり館地に「会所」が建ちました。それで祭りも城から館に移りました。

江戸時代は戦いをする城と城主が住む館は同じ区画にありましたが、中世は城と館は別の所に在りました。このことから館の再現を祝う祭りも本来の(土)地で行われることになったのです。



勝瑞城館会所跡の立体表示施設

26日 運動会
北幼・北小・東幼・東小
省検討会
24日 あいずみ商工会納涼祭反
20日 敬老のつどい
17日 9月定例議会閉会
行会
14日 国民体育大会秋季大会壮
13日 9月定例議会一般質問
12日 藍住東中体育祭
6日 議会全員協議会
2日 民生委員推薦会
9月定例議会開会

9月

27日 議会運営委員会
24日 第十堰建設促進期成同盟
会通常総会(徳島市)
23日 板野郡町議会議長会定例
会・正副議長と県知事
との意見交換会(上板町)
20日 鳴門市正副議長来庁
19日 農業振興地域整備促進協
議会
5~7日 議員視察研修(北海道)
3日 行政課題研究会(徳島市)

8月



第25回藍美展

2日 南幼・南小運動会
4日 なくせじん肺キャラバン
要請行動
10日 西幼・西小運動会
身体障害者ふれあい大会
14~15日 四国地区町村議会議長会
議員研修会(高知県)
26日 板野郡町議会議員研修会
(松茂町)
30日 福祉・健康づくりの町
フェスティバル

10月

議会のうごき

議会だより編集委員会

委員長	奥村晴明
副委員長	小西浩昭
委員	矢部秀行
委員	佐野慶一

9月の民主党の総裁選挙では、菅氏が選ばれました。少しは安定した政治が行われることを願うばかりです。

国政が安定しなければ地方政治は大変ですが、我が藍住町の町政は、堅実な町政を行っています。

町長・町職員・議会も一丸となって、市民の皆様の意見に耳を傾け、よりよい町政を行い、皆様の生活の向上になるよう努力する覚悟です。

御支援、御協力よろしくお願いいたします。

編集後記